

Cente Technical Information

発行番号	003-0005	Rev	第1版	発行日	2014/11/21
題名	3GモジュールなどシリアルI/FのPPP接続の場合、まれにメモリ破壊が発生する現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente PPP Ver.1.00 - Ver.2.20				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 3Gモジュールやモデムなど、シリアル接続した通信モジュールを使ってPPP接続を行っている環境。PPPoE環境は非該当です。</p> <p>【障害内容】 受信するデータの一部が欠けたり化けたりすることがある環境では、まれに内部の受信バッファをオーバーして書き込みを行うメモリ破壊が発生することがあります。機器によってハングアップや再起動など不正動作の症状が発生します。</p> <p>【発生理由】 シリアル接続した通信モジュールを使ったPPP接続の場合、受信した非同期シリアルデータ列からPPPパケットを切り出して受信バッファに入れる処理を行っています。このとき、パケットの終了(次のパケットの先頭)を示すキャラクタ(0x7E)が経路上で欠けたり化けたりした場合、次のパケットデータを続けて同じ受信バッファに入れることとなります。この場合に受信バッファのサイズを超えないように処理する部分に誤りがあり、最大14byte受信バッファ外の領域を上書きしてしまい、他のメモリ領域を破壊することがありました。</p> <p>【回避方法】 回避にはソースコードの変更が必要です。 (変更箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					